



2023（令和5）年12月5日
福山市立日吉台小学校
学年通信 No. 23

音楽科 鑑賞の授業より

音楽の時間に、日本の歌曲（滝廉太郎が作曲した歌曲）について学習しました。歌詞の様子を思い浮かべ、音楽との関わりに着目しながら聴きました。自分が選んだ曲についてまとめたので、紹介します。

「花」（女声二部合唱）

武島羽衣作詞 滝廉太郎作曲

この曲の歌詞は、春の昼間、夜、夜明けを表現しています。桜が咲きほこっている様子が思い浮かぶ歌詞です。

女声二部合唱で、明るくゆったりとした曲調で春のあたたかさを表現しているため、とても歌詞に合っています。

滝廉太郎は、明治時代にたくさんの曲を残した人です。他にも、「箱根八里」や「荒城の月」などの曲を残しており、別人が作ったかのようなメロディの違いが面白い作曲家です。

矢後 凜

「箱根八里」（男声四部合唱）

鳥居忱作詞 滝廉太郎作曲

この曲の歌詞は、険しく堂々とした箱根の山を表現しています。

男声で表現されるこの曲は、歌詞の堂々とした感じにとっても合っています。また、とても力強く、迫力があると感じました。

作曲家である滝廉太郎は、明治時代に作品を残した有名な作曲家です。「お正月」や「花」など、様々な曲を残しています。 奥本 桜輝

「箱根八里」（男声四部合唱）

鳥居忱作詞 滝廉太郎作曲

この「箱根八里」の歌詞は、険しい箱根の山の様子を表しています。

この曲は男声四部合唱で歌われています。男性の、低く強い声から、迫力や堂々とした感じを感じることができ、歌詞の内容ととても合った雰囲気になっています。また、自信のあるような歌い方から、「箱根の山はとても険しい」ということが伝わってくるように思いました。

この曲を作った滝廉太郎は、明治時代に「お正月」「花」「荒城の月」なども作りました。これらの曲も、今でも親しまれています。 佐伯 航太

「花」（女声二部合唱）

武島羽衣作詞 滝廉太郎作曲

この曲の歌詞は、桜、柳、おぼろ月など、やわらかい春の言葉がたくさん使われています。

女声の二部合唱なので、花のはなやかでやさしい感じや、春のひざしのあたたかい感じが伝わってきました。また、ゆっくりした曲なので、おだやかな曲だと感じました。

作曲者の滝廉太郎は、他にも様々な名曲を残していますが、それぞれ違う雰囲気の曲なので、聴き比べしてみると面白いかもしれませんね。

橋詰 ひなた

【まとめたときのポイント】

- ①歌詞が表している様子
- ②曲を聴いて感じたことや気付いたこと
- ③作曲者について

